

経営比較分析表（平成29年度決算）

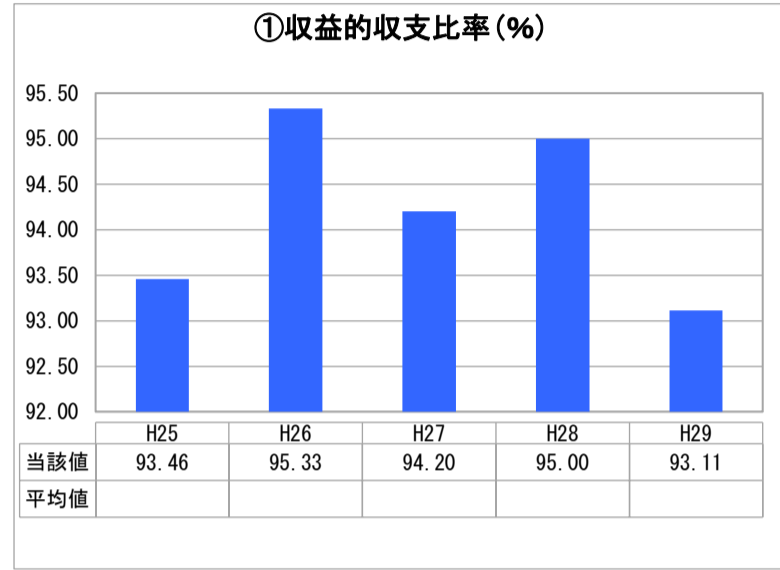
福井県 南越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.02	100.00	3,348

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,869	343.69	31.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
434	0.25	1,736.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



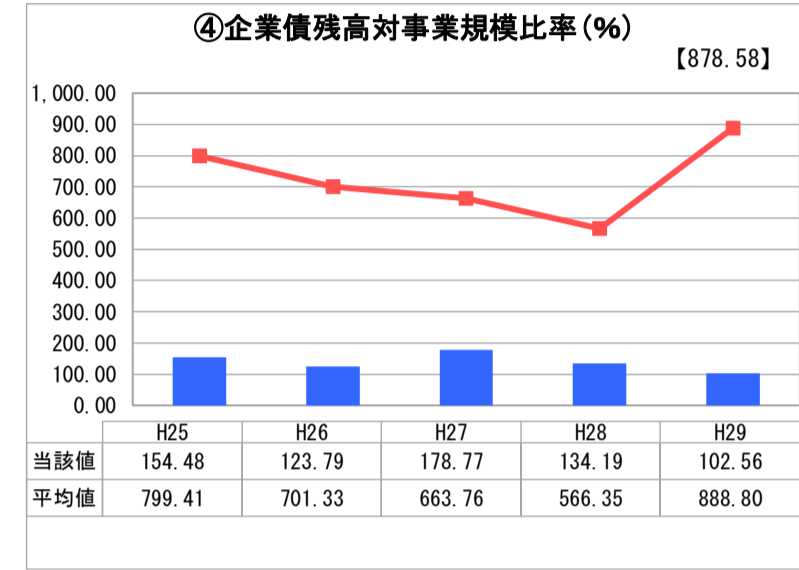
「単年度の収支」



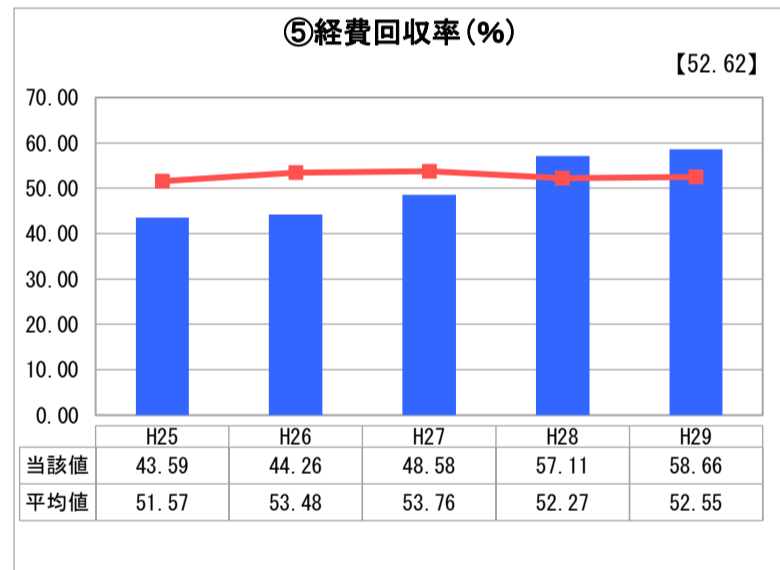
「累積欠損」



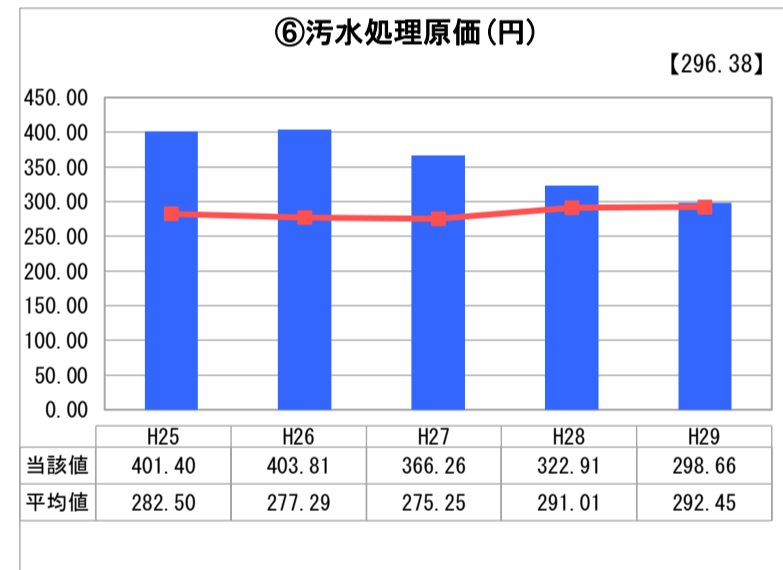
「支払能力」



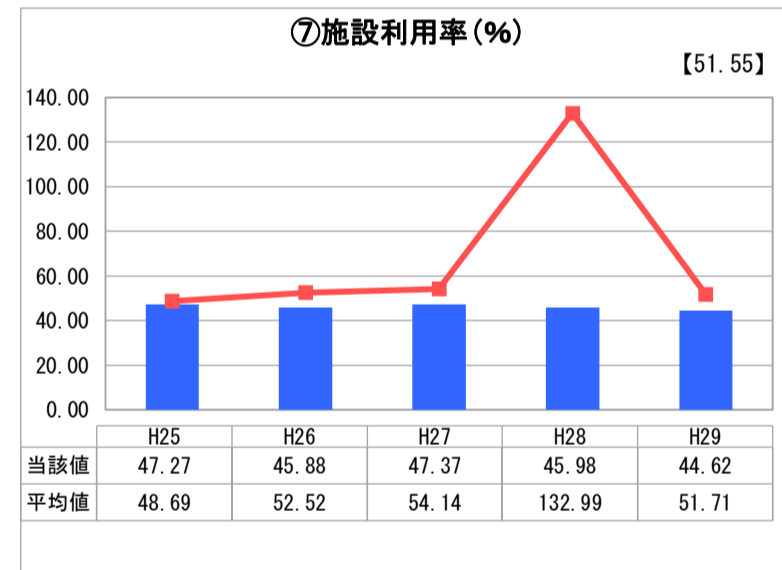
「債務残高」



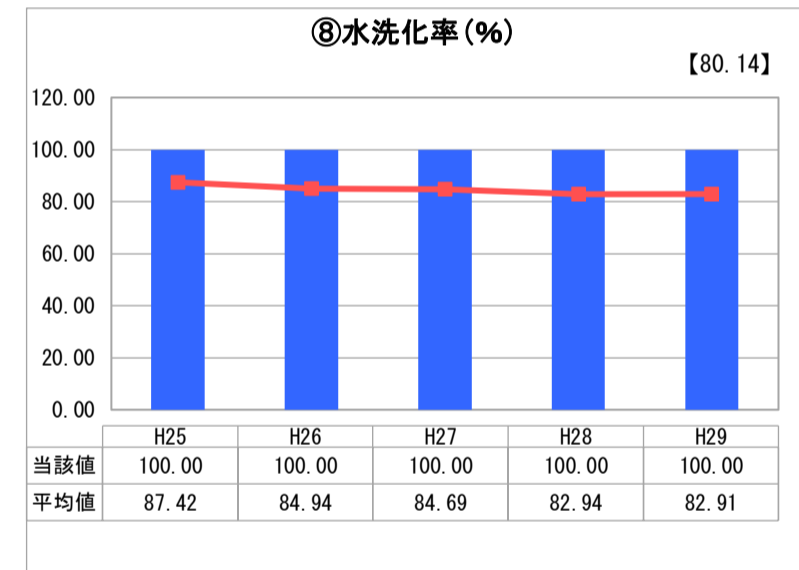
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

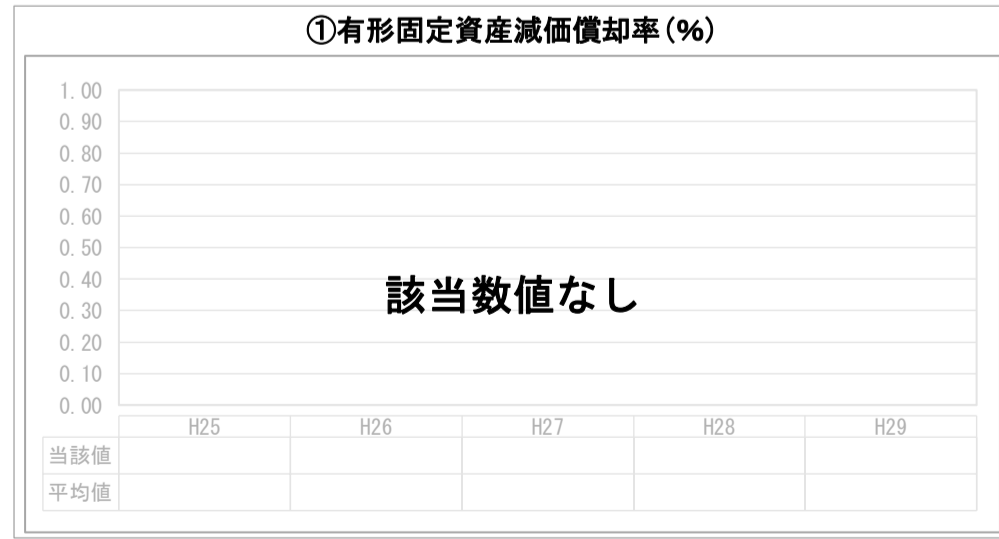


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

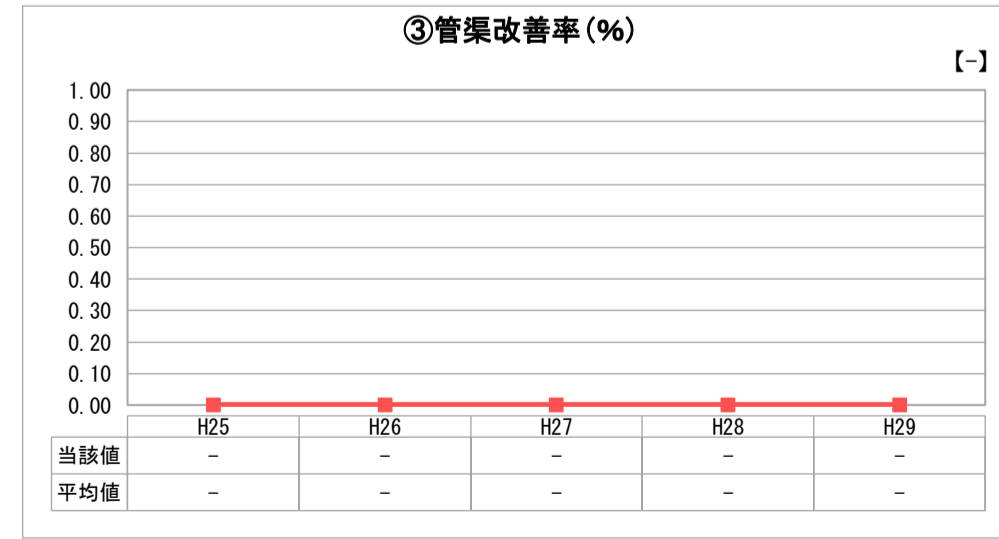
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、恒常的に100%以下であり、収支不足分を他会計補助金にて賄っているのが現状である。

④企業債残高対事業規模比率については、近年、新規の企業債は無く額の変動もないため、営業収益に応じて率は変動している。また、平成29年度には、企業債の一部が償還済となり、さらに、以降の新たな起債もないことから、若干比率が低下し、それ以降はこのまま推移するとみられる。

⑤経費回収率は平成29年度においても類似団体の水準を若干超過したが、低水準である。今後は、健全な経営を目指し、健全経営を見据えた使用料の改定を行う必要がある。

⑥汚水処理原価は類似団体と同水準であった。今後は、投資の効率化や、より適切な経営方法の検討などの改善が必要と考えられる。

⑦施設利用率はほぼ均衡して推移しているが、過疎による人口の減少により、減少していく懸念がある。一方、宅地造成の計画はあるものの、小規模かつ浄化槽区域のみに限定していないため、現況から大幅な変動はないと考えられる。

⑧水洗化率は100%であり、類似団体より高い。適切な汚水処理と水質保全の観点から、今後もこの数値を維持していきたい。

2. 老朽化の状況について

現在は、施設機能の維持のため、定期的な清掃並びに点検を行い、修繕が必要な施設については部分的な修繕を行っている。

本施設は比較的新しいため、老朽化は進んでいない。また、機能的にも全面的な改修を必要とする箇所はないが、今後は、老朽化が進行することから、長期的視点の施設改修計画を検討したい。

全体総括

経営の健全化について、維持管理経費の削減に取り組んでいるものの、依然として収入の中では他会計繰入金が高い割合を占めている。今後は、人口減少がさらに進行すると予測されることから、今以上に使用料の減少が懸念される。

今後は、経営の健全化を見据えて、平成31年度に使用料の改定に取り組む予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。